

令和6年度 第2回 高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会 議事録

日 時 令和6年10月17日（木） 14時～15時

場 所 高岡市役所 801 会議室

出席者

- ・委員：13名（大崎委員、狩野委員、能松委員、堀川委員、山本 津委員、吉田委員欠席）
- ・アドバイザー：1名

1. 開会挨拶

2. 委員の紹介

3. 協議事項

(1) 高岡市在宅医療・介護連携等推進協議会 部会・ワーキングの実施状況について

【資料 No. 1-1～5】

(2) 在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査結果について

【資料 No. 2】

【意見交換】

(1) 在宅支援ワーキングについて

[会長]

- ・第1回 高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会（以下、研修会）のグループディスカッションはよかった。今後、参加者数を増やしていければよい。

[アドバイザー]

- ・研修会に、どのような職種が参加されているのか、どの関係機関から参加されているのか、詳細な分析があるとよい。

[委員]

- ・ケアマネジャーは、業務の効率化の部分で悩んでいる。業務が多様化していることもあり、なり手が少ない。

[委員]

- ・医療、介護、障がい支援の3つの分野が一堂に会する研修会は久しぶりであった。顔を合わせて事例検討をすることで、多職種の方と知り合うことができる。

[委員]

- ・理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会の3士会合同で研修会を企画しているが、参加者が固定している。

[会長]

- ・研修会については、Zoomの活用について検討してもらいたい。

(2) 情報共有ワーキングについて

[会長]

- ・第1回 在宅医療・介護等連携部会にて、多職種連携のツールの1つとして、北海道函館市の「はこだて医療・介護連携サマリー」(参考資料 No. 1)の紹介があった。

[委員]

- ・多職種連携にあたり、タイムリーに発言できるシステムがあればよい。

[会長]

- ・災害があった際には、タイムリーに情報共有ができるとよい。

[委員]

- ・病院から在宅に移行する際に、病院で指導した食事形態や食事摂取時の姿勢がうまく伝わっていないことがあるので、情報を細かく伝えられるツールがあればいい。

[会長]

- ・「4つの場面」の中で、「入退院支援」がネックになっている。情報共有ワーキングでは「入退院支援」に特化して検討してもらいたい。

(3) 普及啓発ワーキングについて

[委員]

- ・病院で、以前、ACP(人生会議)についてのアンケート調査を実施した。「ACPについて知っている」と回答した割合は、7~8割。また、「病気になってから考える」との回答が多かった。

[委員]

- ・厚生センターでは一般の方対象の研修会があるので、機会を捉えて、普及啓発できれば。

[委員]

- ・ACPについては医師によって差があり、進んでいないと感じる。

[会長]

- ・ACPを本格的に実施すると時間がかかる。ACPの仕組みを作っていくこと、若いうちから考えていくことが大切である。

(4) 在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査結果について

[委員]

- ・訪問歯科診療について、需要はあると思われるが、月平均4件の実績。今後、この取り組みについて啓発していかなければならないと感じている。

[委員]

- ・身体的なことと併せて、社会生活を支援する視点が必要ではないか。

[委員]

- ・同居の親が病気になった時のことを不安に思っている障がいの人が多い。訪問看護において、ゴミ屋敷のお宅を訪問することがあるが、スタッフを守るためにサービス提供ができず、その家が困ることもある。

[会長]

- ・別の会議で、DPC ビックデータを使用した高岡医療圏の予測値の紹介があり、誤嚥性肺炎、

骨折の患者が増えるとのことであった。肺炎、骨折は予防可能な病気なので、この協議会で手立てを考えていくことが必要ではないか。

[委員]

- ・資料 No. 2 のアンケート調査結果の P8 で、「多職種ネットを活用することで、多職種連携が効果的に図られていると思うか」について、「そう思わない」と回答した理由と、居宅介護支援事業所、訪問看護の回答が多かった理由の分析が必要ではないか。ACP に「取り組んでいない」やいきいきノートを「知らない」と多く回答している職種がわかるため、その分析をしていく必要がある。

[事務局]

- ・情報共有ワーキングでは、高岡多職種ネットの使い方がわからない方もいるとの意見があり、12月の研修会で高岡多職種ネットの使い方等を伝える予定としている。

(5) 今後の方向性について

[事務局]

- ・今後も在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査（以下、アンケート調査）を実施し、評価していきたい。
- ・今年度の研修会の内容については、アンケート調査の結果や皆様の意見をいただきながら検討していきたい。

(6) 今後の進め方について

[アドバイザー]

- ・アンケートで、課題が明確になってきているため、そのアプローチをどのようにするか、どこから取り組むかの優先順位をつける必要がある。プロセス評価、アウトプット評価も大切にしてほしい。実施した過程についても評価していくとよい。

[委員]

- ・入退院時の話は、医師や地域連携室との情報共有が必要になってくる。ロードマップを提示し、協議会メンバーが目指すことがわかる説明が必要。在宅支援ワーキングで検討する内容が多く、分ける必要があるのではないか。

【今後の予定】

第3回協議会 3月6日（木） 19時～ を予定。